



**【臨時レポート】ブラジルの利上げについて**

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

2014年4月2日、ブラジル中央銀行は金融政策委員会(COPOM)において、政策金利(SELICレート)を従来の10.75%から0.25%ポイント引き上げ、11.0%にすることを全会一致で決定しました。COPOMにおける利上げは、2013年4月17日以降9回連続、引き上げ幅は合計で3.75%ポイント(7.25%→11.0%)となります。0.25%ポイントの利上げ幅は市場の予想通りであり、4月3日の東京時間においてブラジルリアル相場に目立った動きはみられていません。

**【今後の見通し】**

新興国の通貨及び債券市場は、ウクライナ情勢に対する投資家の警戒感が強まったことや、米国が来年に利上げを開始するとの観測が強まったことなどを受け、2014年に入ってから上値の重い展開となりました。ブラジル市場も2月前半までは軟調な推移が続きましたが、2月後半に政府が財政支出の削減方針を打ち出してからは底入れしつつあります。3月24日には、米大手格付け会社スタンダード・アンド・プアーズが格下げ(外貨建て長期価格付け:BBB ⇒BBB-、自国通貨建て長期価格付け:A- ⇒BBB+)を発表しましたが、今回の利上げが既に織り込み済みであったことや、今後も投資適格が維持される見通しであることからブラジル市場への影響は限定的でした。

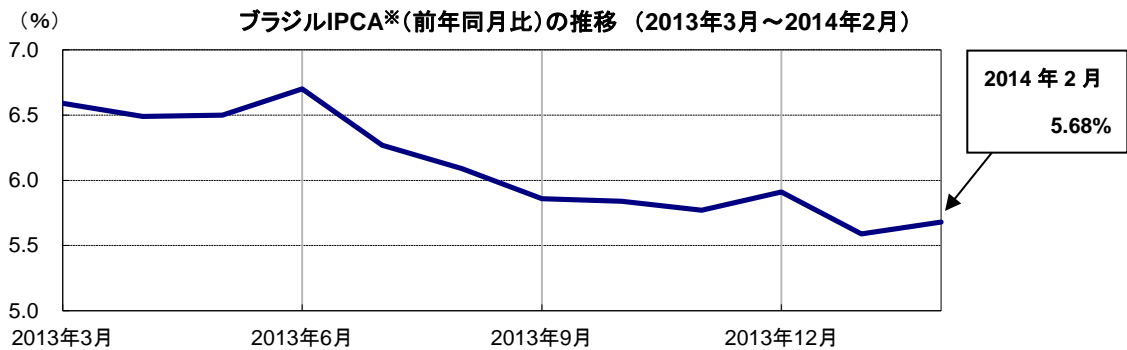
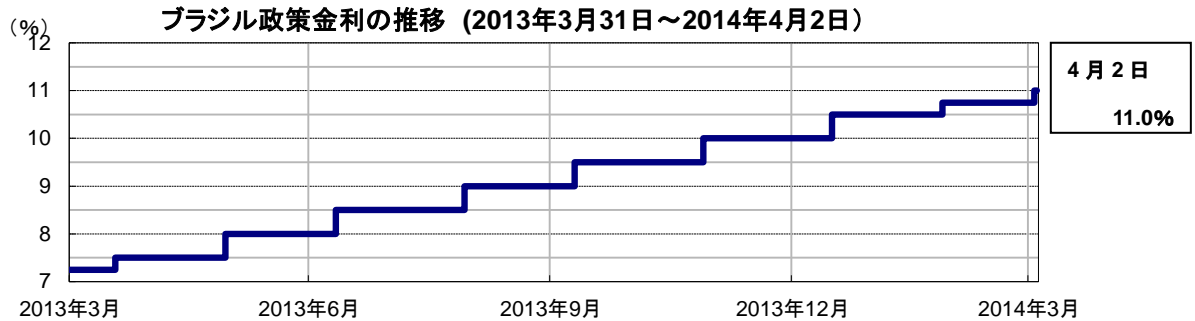
ブラジル中銀による金融引き締め局面は、もうしばらく続く可能性があります。3月前半に発表された2月消費者物価指数(IPCA)は前年同月比+5.68%となり、昨年6月の6.70%からは沈静してきた模様ですが、3月後半からは干ばつに伴う食料品価格の上昇の影響が徐々に現れつつあり、中銀のインフレに対する警戒感は依然として強い状況です。金融引き締め局面が長引けば、それだけ景気回復も後ずれするリスクがあるでしょう。

しかしながら、米国が順調な経済成長を示していることに加え、日本や欧州経済も回復基調を示していることなどから、ブラジルの景況感は中期的に改善するとみられます。ブラジルの通貨及び債券市場も、目先は中国景気の先行き不透明感や、一部の新興国で生じている政治的な混乱などもあって変動性の高い局面を迎える可能性はありますが、徐々に底堅さを取り戻してくると予想しています。

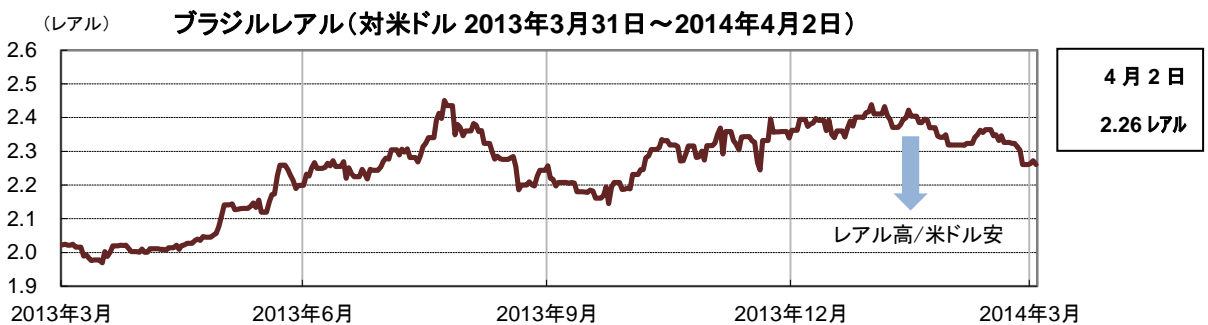
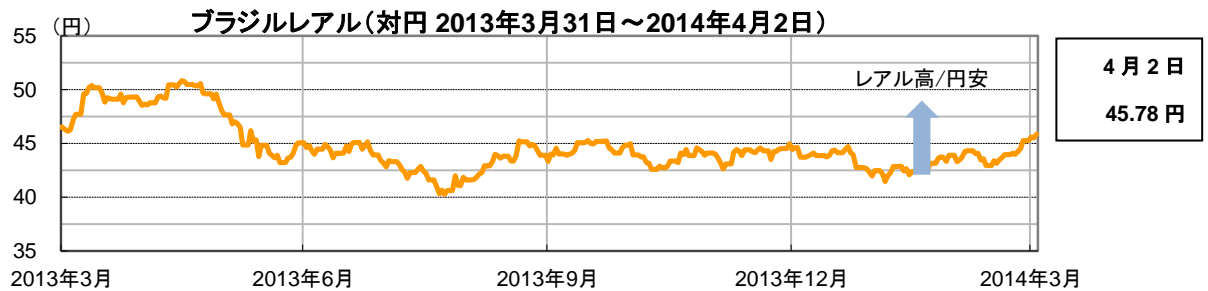
BNYメロン・グループでは、ブラジルをはじめとする新興国市場を取り巻く様々な要因について、引き続き注視して参る所存です。

以上

【ご参考】



※ IPCA: ブラジル政府が公認するインフレ指数



(出所)ブルムバーグ

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的に BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン 株式会社 が作成したものです。  
 ●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。



BNY MELLON

### <投資信託に係るリスクについて>

投資信託は一般的に、株式、債券等様々な有価証券へ投資します。有価証券は市場環境、有価証券の発行会社の業績、金利の変動等により価格が変動するため、投資信託の基準価額も変動し、損失を被ることがあります。また、外貨建の資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。そのため、投資信託は元本が保証されているものではありません。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては各投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### <投資信託に係る重要な事項について>

- 投資信託によっては、海外の証券取引所の休業日等に、取得、換金の申し込みの受付を行わない場合があります。
- 投資信託によっては、クローズド期間として、原則として換金が行えない期間が設けられていることや、1回の解約金額に制限が設けられている場合があります。
- 分配金の額は、投資信託の運用状況等により委託会社が決定するものであり、将来分配金の額が減額されることや、分配金が支払われないことがあります。

### <投資信託に係る費用について>

投資信託では、一般的に以下のような手数料がかかります。手数料率はファンドによって異なり、下記以外の手数料がかかること、または、一部の手数料がかからない場合もあるため、詳細は各ファンドの販売会社へお問い合わせいただくか、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)等をご覧ください。

投資信託の取得時: 申込手数料、信託財産留保額

投資信託の換金時: 換金(解約)手数料、信託財産留保額

投資信託の保有時: 信託報酬、監査費用

信託報酬、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に受益者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等が実費としてかかります。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の費用がかかることがあります。また、一定の条件のもと目論見書の印刷に要する実費相当額が、信託財産中から支払われる場合があります。

#### ● 投資信託委託会社

**BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社**

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第406号

[加入協会] 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

本資料は BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社(以下、「当社」という。)が作成したものです。本資料は投資に係る参考情報を提供することを目的とし、特定の有価証券の勧誘を目的として作成したものではありません。また、当社が販売会社として直接説明するために作成したものではありません。当社は信頼性が高いとみなす情報等に基づいて本資料を作成しておりますが、当該情報が正確であることを保証するものではなく、当社は、本資料に記載された情報を使用することによりお客様が投資運用を行った結果被った損害を補償いたしません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。また、当該意見・見通しは将来予告なしに変更されることがあります。

●当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的に BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。  
●当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。●ファンドに生じた利益及び損失は、すべて受益者に帰属します。